

ぜんざい どうじ ごと 善財童子の如くありたいものである —淑徳大学創立者・長谷川良信の生涯—

講演者 金子 保 淑徳大学総合福祉学部教授



淑徳大学社会福祉研究所は、これまでにさまざまな企画を地域の皆様にお届けしてまいりました。15回目となる今回は、淑徳大学総合福祉学部教授、金子保先生のご講演を中心にお送りします。淑徳大学の生い立ちとその建学の精神を受け継ぐ学生たちの福祉活動など、震災を機に地域連携が一層注目されるいま、地元「淑徳大学」をより身近に感じていただけるのではないのでしょうか。皆様のご参加をお待ちしております。

◆金子 保先生プロフィール

1941年、横浜に生まれる。慶應義塾大学商学部卒業（第5回生）。在学中、児童養護施設「至誠学園」でのボランティア活動に熱中。同大学大学院社会学研究科教育心理学専攻修士課程・博士課程修了。大学院に在籍中、至誠学園相談室を担当。その後、東京都立八王子乳児院心理技術員として12年。1979年4月、淑徳大学社会福祉学部助教授として赴任、以来33年勤続。この間、淑徳大学が仏教系大学であったことから、仏教に親しむようになる。現在、淑徳大学総合福祉学部実践心理学科教授、大学院総合福祉研究科付属「心理臨床センター」運営委員。保育士、臨床心理士、臨床発達心理士の養成に携わる。還暦の年から、立川市に所在の「至誠学園」でボランティア活動を再開。現在、社会福祉法人至誠学舎立川理事・評議員。また、大阪府守口市に所在の恵由福祉会「ひまわり保育園」の理事。近年は、仏教心理学、仏教カウンセリングの研究に取り組んでいます。

◆プログラム

第1部 講演

「無限無窮の向上進歩の道程に立つ永遠の求道者善財童子の如くありたいものである」の言葉の通り、社会福祉事業に挺身し続けた、淑徳大学学祖・長谷川良信の生涯とその精神についてお話しいたします。真の社会福祉事業とは何か、いま改めて問い直します。

第2部 淑徳大生の活動から

東日本大震災被災地でのボランティア活動レポートや県内初の学生消防団など、「淑大生」が取り組んでいるさまざまな福祉活動をご紹介します。「福祉の淑徳」のいまの姿をご覧ください。

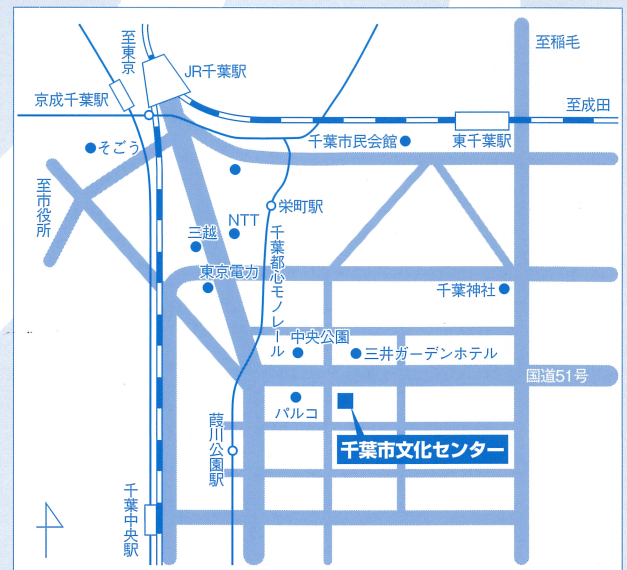
日時 平成23年7月3日（日）
14時～16時（開場13時30分）

場所 千葉市文化センター3階 アートホール
JR「千葉」駅下車 徒歩10分
京成「千葉中央」駅下車 徒歩10分
千葉都市モノレール「葭川公園」駅下車 徒歩5分
電話 043-224-8211

定員 500人（定員になり次第締切りとなります。）

後援 千葉市

申込方法 6月24日（金）（必着）までに、官製ハガキに住所、氏名、電話番号、参加希望人数を明記して郵送してください。入場券を発送いたします。（入場無料）



〒260-8701 千葉市中央区大巖寺町200番地
申込先・問合せ先 淑徳大学社会福祉研究所 総合福祉研究室
 電話 火・木・金 043-265-7377（直通）